

9週間の講座の学習プランをたてる

課題 1-2

合計

この課題のゴール

チームの9週間を通した学習プランを模造紙上に設計する。

約 **60** 分

課題の目的

学習の見通しをたてることで講座への参加意識を高める。

チームが共同体として円滑に機能するためにチームの学習目標、ルール、連絡ツールなど9週間の学習を進める環境を設定する。



音読

手順

- 1-2-1 メンバーにインタビューし学習プランをたてるためのヒントを抽出する
- 1-2-2 書き出したアイデアをチームのメンバーで共有する

1-2-1
約 20 分

1-2-2
約 40 分

1-2-1 ワークシートをもとにインタビューしましょう。

1-2-1 めやす

20 分

[チーム作業]

- ・ 作成してきたワークシートをもってチームのメンバーで円形に座っている。
- ・ メンバーの中で名前が五十音順で先頭になる人が最初に「話し手」になって紹介する(例：田中、青木、加藤なら青木さんが最初に紹介)。
- ・ 「話し手」の右隣の人が「インタビュアー」になって話を引き出す。
- ・ 次は「インタビュアー」が「話し手」になる。
- ・ 話し手は過去のことをふりかえって話すようにところがける。

インタビューのシーン

あなたは成功をおさめ、退職を一年後に控えたエンジニア（研究者）です。後進のエンジニアにあなたの成功体験をぜひ伝えたいと取材されています。



司会



音読

質問 例

一人最長 5 分間まで

タイムキーパー（インタビュアーの右隣りの人）

交代していく

インタビュアー（話し手の右隣りの人）



- Q1:あなたはいつ・どんな成功をおさめましたか？
Q2:成功をおさめたあなたはどんな環境で生活していますか？
Q3:かつて仲間と「CMOS アナログ回路」を学習した経験がその後の人生にどんなふうに活かされましたか？
Q4:あなたはどんな意気込みや課題をもって学習をはじめましたか？
Q5:仲間との関係、その中のあなたのポジションはどうでしたか？
Q6:「CMOS アナログ回路」を仲間と学習したときに苦労した点を3点以上教えてください。
Q7:どんな学習環境をつくることで改善されましたか？
Q8:「今」、改めてともに学習した仲間どんなメッセージをおくれますか？

話し手（50 音順で先頭になる人からスタート）

メモ（話し手、インタビュアー以外の人）

- ：話し手が話す内容からキーワードを拾い、付箋紙 1 枚につき 1 キーワードずつ大きく書く。
(1 人につき少なくとも 1 キーワード聞き取って書く)



1-2-2 学習する環境を設定しましょう。

1-2-2 めやす

[チーム作業]

- ・机の上に一枚の模造紙をひろげ、メンバーが円形に座っている。
- ・メンバーの中で名前が五十音順で最後になる人から右回りに付箋紙に書き出した内容を模造紙にはりつけながら紹介する(例：田中、青木、加藤なら田中さんが最初に紹介)。
- ・1人最長3分まで時間を区切ってタイムキープする。
- ・1-1-1「学習のイメージ図：友だちと行く山あり谷ありの探索旅行」を参考にして模造紙にはりだした付箋紙のカテゴリーわけをしましょう。
- ・チームの学習目標、ルール、連絡ツールなど具体的に9週間の学習を進めていく環境を設定して模造紙にまとめましょう。

40分

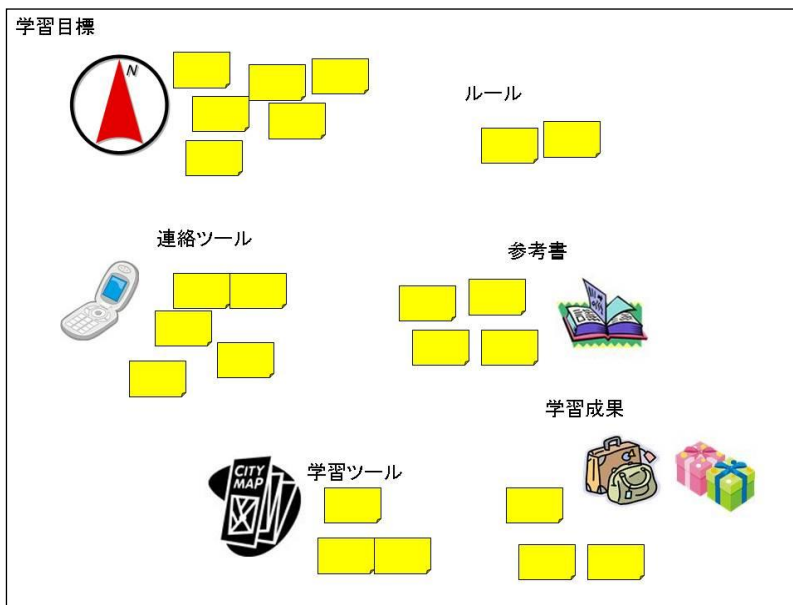


司会



音読

模造紙
例)



1-2-2が完成したら 1-3に進んでください。 >>

適宜、休憩をとってください。